

2018年度関西大学経済学部が提供する大学・学部連携科目について

経済政策Ⅰ [本西泰三] : 春・木4 : 初回 2018年4月5日(木)

この授業では、主にミクロ経済政策を取り上げます。我々の身の回りには、政府による規制や介入があふれています。こういった政策が行われている理由を知ることは、経済の動きを深く理解する上で大変重要です。本講義では、できるだけ現実の問題に即して、様々な種類の経済政策を紹介します。その際、「政府による介入が過剰に、あるいは過少になっていないか」という問題意識を常に持つことが重要です。現実の経済を理解する目的で、講義の中では数多くの新聞や雑誌の記事を取り上げるので、受講者は日頃からこれらに目を通しておくことを求められます。政策を通じて経済を理解し、その動きを解釈する視点を身につけることが本講義の目標です。

参考情報: シラバス

注: 大学コンソーシアム大阪単位互換制度のオンキャンパス科目としての開講はありません。

経済政策Ⅱ [本西泰三] : 秋・木4 : 初回 2018年9月27日(木)

この授業では、主にマクロ経済政策を取り上げます。我々の身の回りには、政府による規制や介入があふれています。こういった政策が行われている理由を知ることは、経済の動きを深く理解する上で大変重要です。本講義では、できるだけ現実の問題に即して、様々な種類の経済政策を紹介します。その際、「政府による介入が過剰に、あるいは過少になっていないか」という問題意識を常に持つことが重要です。現実の経済を理解する目的で、講義の中では数多くの新聞や雑誌の記事を取り上げるので、受講者は日頃からこれらに目を通しておくことを求められます。政策を通じて経済を理解し、その動きを解釈する視点を身につけることが本講義の目標です。

参考情報: シラバス

注: 大学コンソーシアム大阪単位互換制度のオンキャンパス科目としての開講はありません。

環境経済学Ⅰ [新熊隆嘉] : 春・月2 : 初回 2018年4月9日(月)

環境問題のほとんどは、人間の経済活動が生み出していると言っても過言ではありません。したがって、環境問題を解決するためには様々な経済活動を最適にコントロールする必要があります。これは法律で規制することによってもできますが、社会的に望まれる行動をとるためのインセンティブを各経済主体に与えるように制度設計するというのも一つです。

どちらかといえば、環境経済学は後者の立場をとります。環境経済学Ⅰでは、環境経済学の基礎を習得します。

参考情報: シラバス

環境経済学Ⅱ [新熊隆嘉] : 春・木5 : 初回 2018年4月5日(木)

環境経済学Ⅱでは、環境経済学Ⅰで学んだ基礎をもとに、それが環境問題を解決する上でどのように適用されているのかについて、具体的な環境問題に即して講義します。

基礎理論が中心であった環境経済学Ⅰとは異なり、環境経済学Ⅱでは実際のデータを使った実証研究も多数取り上げます。なお、環境経済学Ⅰの内容を前提としていませんので、環境経済学Ⅰを受講していなくても理解できます。

参考情報: シラバス

寄附講座(不動産鑑定士による、まるかじり不動産学) [公益社団法人 大阪府不動産鑑定士協会 (コーディネーター・佐藤雅代)] : 春・金 4 : 初回 2018 年 4 月 6 日(金)

国民の生活、経済活動に深く関わる不動産。その重要性から不動産に関する専門家の役割、重要性が高まっています。不動産の価格、賃料に関する専門家である不動産鑑定士が、不動産の価格形成過程、昨今の不動産を取り巻く環境、市場動向等について、実務経験や分かりやすい実例を交えて講義します。

参考情報: [シラバス](#)

寄附講座(金融キャリア実践講座) [日興リサーチセンター(株) (コーディネーター・菅田一)] : 秋・金 4 : 初回 2018 年 9 月 21 日(金)

金融・経済の自由化やグローバル化が進捗し、多様な金融商品やサービスが登場するなど消費者の選択肢が拡大して、これまで以上に利便性や収益機会が得られるようになりました。その一方、私たちには自らの判断と責任において金融取引を行うべきとする、「自己責任」が求められる時代になっています。自立した個人として、実際の問題に対処し自身で合理的な選択や意思決定を行うために必要な知識基盤を身につけることが今、大切です。

この授業では、自身のライフデザインを描き夢や希望を叶えるために必要となる資金計画をはじめ、金融資産の基本的なしくみや特性、リスクとリターン、その活用方法など実社会で役立つ金融リテラシー(知力)を広く身につけることを目的としています。将来金融業界等を志す諸君にとっても、役立つ講義となることが期待できます。

参考情報: [シラバス](#)

寄附講座(現代社会と税制) [近畿税理士会 (コーディネーター・林宏昭)] : 春・木 4 : 初回 2018 年 4 月 5 日(木)

税の専門家である税理士が、民主主義国家の根幹をなす租税について、実務の中で経験したさまざまな事例等をもとに現場目線で、租税とは何か、現代社会の中で税制(税金の仕組み)がどのように機能しているかなどを分かりやすく解説します。租税について正しく理解するとともに、税理士の使命や役割、税理士制度の理解に資することを目的とします。

参考情報: [シラバス](#)

経済学特殊講義 I (Economic and Social Issues in Japan) [ペドロ・ラポウズ] : 春・水 1 : 初回 2018 年 4 月 11 日(水)

本講義は、現代日本の経済あるいは社会問題を取り扱いながら、英語でのディスカッションやライティングやプレゼンテーションを行います。

授業では、現在の経済の低成長、デフレ、貧困、人口減少などの諸問題を取り上げ、なぜ、どのようにしてそれらの問題が起こってきたのかを考察し、その問題に対する日本政府の対処・対策を検討します。また、授業では英語のレポートの書き方も指導します。主に英語を用いて授業を行いますが、日本語の使用も可能です。

参考情報: [シラバス](#)

経済学特殊講義 I (アフリカ経済論 I) [ペドロ・ラポウズ] : 春・金 1 : 初回 2018 年 4 月 7 日(金)

アフリカは世界で最も古い大陸です。54 カ国をかかえる大陸で、人口も多く、言語もバラエティに富み、古くから独自の文化も所有しています。それにもかかわらず現在のアフリカは、アジアの途上国諸

国と比較して経済的な後れをとっています。それはなぜでしょうか。

本講義ではアフリカ経済の変遷や問題を、その物理的・社会的特徴や他国との関係から見ていきます。

参考情報: [シラバス](#)

経済学特殊講義 I (アフリカ経済論 II) [ペドロ・ラポウズ] : 秋・金 1 : 初回 2018 年 9 月 21 日 (金)

アフリカは世界で最も古い大陸です。54 カ国をかかえる大陸で、人口も多く、言語もバラエティに富み、古くから独自の文化も所有しています。それにもかかわらず現在のアフリカは、アジアの途上国諸国と比較して経済的な後れをとっています。それはなぜでしょうか。

春学期のアフリカ経済論 I に続いて、アフリカ経済の変遷や問題を他国との関係から見ていきます。

参考情報: [シラバス](#)

経済学特殊講義 I (都市交通論) [宇都宮浄人] : 秋・木 5 : 初回 2018 年 9 月 27 日 (木)

高齢化、地球温暖化、中心市街地の空洞化など、都市を取り巻く問題は深刻さを増しています。本講義では、こうした都市の問題を交通という観点から考察します。具体的には、欧州における鉄道復権の動きに着目しながら、都市交通の現状、課題、そして今後のあるべき政策について考えていきます。また、こうしたテーマについて、経済学的な視点やデータを用いることで、客観的で冷静な判断、政策提言を行なうことを学び取ってもらうつもりです。

ただし、本講義では、多くの学生に身近な交通問題を考えてもらうことを意図しており、経済学の知識を有していない学生の受講も歓迎します。学外の実務家を招へいた講義も予定しています。

参考情報: [シラバス](#)

経済学特殊講義 I (ビジネスと金融・会計) [宗岡徹] : 春・火 3 : 初回 2018 年 4 月 10 日 (火)

企業経営に必須の知識である会計(アカウンティング)と金融(ファイナンス)を、ビジネスを含めた3者に関連させながら学習します。

参考情報: [シラバス](#)

経済学特殊講義 I (Contemporary Global Issues) [後藤健太、夏田郁、畝川憲之] : 春・金 5 : 初回 2018 年 4 月 6 日 (金)

本講義は、英語によるオムニバス形式の講義です。その主な目的は、英語によってグローバル経済にかかわる事情の理解を進め、将来的なキャリア形成においてグローバルに活躍できる人材を輩出することにあります。英語ベースの授業ではありますが、内容の理解を促すために、講師が日本語で補足説明などをすることもあるため、英語に自信のない学生も積極的に受講してください。

担当教員(3名)はいずれもアジア太平洋地域のみならず、グローバルな問題にかかわる専門家で、大学の外での様々な仕事(たとえば外務省委託の ODA 評価や国際協力機構(JICA)のプロジェクトなど)も行っており、そうした現実世界の話題も題材として積極的に取り上げ、授業に反映していく予定です。

参考情報: [シラバス](#)

経済学特殊講義 II (現代資本主義における人権) [北川亘太] : 春・火 3 : 初回 2018 年 4 月 10 日 (火)

この講義では、人権のうち「雇われて働く人」の権利、つまり労働者の権利を扱います。

労働者の権利がどのように侵害されてしまうのか、どのように守られるべきか、受講生のあなた(多くの方は就職すると思います)はどのように職場での自分の権利を守っていくか。この論点を考えるとき、「現代資本主義」の仕組みを理解することが不可欠です。なぜなら、現代の意味での「雇われる」の始まりが資本主義の始まりであり、資本主義の変化に応じて雇われる人の喜びと苦しみもまた変化するからです。

この講義は、現代資本主義を「認知資本主義」として捉えます。それは、旧来の「産業資本主義」と対比されます。認知資本主義における「雇われて働くこと」、つまり労働には、産業資本主義とは異なる喜びと苦しみがあります。この講義は、認知資本主義化の中で労働の喜びと苦しみがどのように変化したかをみていきます。

私たち(受講生と担当教員)は、認知資本主義のただなかにあります。この講義では、私たちの生活(大学生生活、消費活動、労働)の中にその要素が見られることを発見していきます。その中でも、アルバイトや会社での苦しみがなぜ起こるのか、雇われて働く私たちの権利がときに侵害されてしまうのはなぜなのか、それをどのように防ぐのかを、「認知資本主義」という理論を意識しながら考えていきます。

参考情報: [シラバス](#)

経済学特殊講義Ⅲ(税と会計と社会) [茂呂和夫] : 秋・金5 : 初回 2018年9月21日(金)

国税専門官として、国税庁、東京国税局の要職を歴任した講師が、税と会計と社会相互の関わりについて講義します。税と会計と社会を取り巻く環境の変化と現状及び問題点を実践的に理解すると同時に、実践的な事例(ケース)についてのディスカッション(ケースメソッド授業)を通じて、コミュニケーション力、思考力及び読解力を養い、実践力を身につけましょう。

参考情報: [シラバス](#)

経済学特殊講義Ⅳ(NPOボランティア論) [早瀬昇] : 春・水2 : 初回 2018年4月11日(水)

企業とNPOの連携を進め、阪神・淡路大震災では日本初の災害ボランティアセンターを創設、その後、NPO法の制定運動などにも参画した講師が、民間の担い手によって取り組まれる営利を目的としない公益活動(ボランティア活動、NPO活動、企業市民活動など)の特性について理解をはかるとともに、行政との「協働」も含むその現状、実践上の課題とその解決方策などについて、最新の動きも含めて紹介します。その上で、私たちがどう関わるかについても検討します。

参考情報: [シラバス](#)